

→おもて面から 給食用食材を県内産のみに出来ないかというのですが、特に青果物について、ジャガイモを例にとると、ジャガイモの収穫時期は全国で異なりますので、年間を通して使用しようとする県内産のものだけでは賄いきれませんので他の地域産のものを使用しますが、産地確認や理化学検査等を実施して安全性を確認しています。 ④ 給食にさらに郷土料理や肥後野菜を使い、子どもたちに地元の料理や食材に関心を持たせたい。 (回答) 健康教育課 学校給食では、市産の野菜を活用した献立を提供する「ひごまるデー」や、各地の料理を献立に取り入れた「味の旅」等の取組を行っており、今後も学校給食を生きた食育の教材として活用を進めてまいります。 肥後野菜につきましても、春日ぼうぶらや一文字等を学校給食に取り入れてまいりましたが、生産者が少なく収穫量が見込めない等の課題もあることから、生産者の方々と意見交換をしながら導入について検討してまいります。 ⑤ 子どもたちが朝食を食べて登校するような等を市全体でできないでしょうか。 (回答) 青少年教育課 生活習慣を整える目的での「早寝早起き朝ごはん」に関しては、家庭教育セミナー等のテーマの一つとして学校や保護者会等に周知し、そのような内容を講演できる講師の派遣を行います。 (回答) 健康教育課 健やかな心身を育むためには、規則正しい生活習慣を身につけることが大切です。このため、各学校では、教育委員会が作成した生活習慣改善啓発パンフレット等を活用し、家庭と連携しながら生活習慣改善に取り組んでいるところです。今後も引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。 <地震関連> ① 地震後、被災者との共生を行っています。健康づくりの必要性やたくましく生き抜く力についての啓発のための講師派遣等をお願いします。 (回答) 健康教育課 (健康づくりの必要性について) 学校・保護者・地域が連携し、子どもの健康づくりに取り組むことは重要です。生涯学習部門や健康部門が行っている出前講座をぜひご活用ください。 (回答) 指導課 (たくましく生き抜く力について) 熊本地震を踏まえてということであれば、過去に震災を経験された地域からの体験談をお聞きしたりすること等が有効ではないかと思います。また、全般的なもので言いますと、文化面やスポーツ面で成功を収めた著名な人に、成功までの体験談や失敗談等の講話をしていただくと効果があると考えます。	4 教育環境の整備関連 (施設・設備、安全・事故防止等) ① 学校の遊具が少ないと感じます。保護者からの要望で購入してもらえますか。 (回答) 健康教育課 安全管理上の観点から、遊具の新設は原則として行っていないませんが、体育の学習で利用する遊具・固定施設については、修理や交換等を行っているところです。 併せて、体力向上実践校を指定し、楽しみながら体力をつけたり、巧みな動きができるようになるような体力向上プログラムを開発し普及しようとしているところです。 ② エアコンの早期設置を進めてほしいです。 (回答) 施設課 小・中学校普通教室へのエアコン設置につきましては、教育環境の整備を進めていくうえで、優先度の高い課題として取り組んでいるところです。 本年度のエアコン設置事業は、中学校は設置工事、小学校は設計委託の準備を進めることとしておりましたが、国の補助が不採択であったこと、震災による被害が発生し、学校施設の安全性の確保のため、復旧工事を行わなければならないこと等によって、事業が中断している状況です。今後、国の補正予算(経済対策)の動向等を踏まえ、対応を検討してまいります。 ③ 各学校へもっと多くの予算配分を願います。また、学校の特色を出すために、学校独自で進めていく施設整備があってもよいのではと思います。 (回答) 学務課 (予算の配分について) 本市の厳しい財政状況により、学校予算は年々減少傾向にあります。そのような中、本市では、相談支援体制(S・S・W、S・C等)や教育指導体制(学級支援員、学校図書館司書業務補助員等)の充実等、多様化する学校の諸問題への対応について重点的に取り組む等、限られた予算の中において、ニーズを捉えた事業展開と予算の配分に努めているところです。特色ある学校づくりを進めていくことは重要なことと認識しており、今後も予算確保に努めてまいりたいと考えております。 (回答) 施設課 (学校独自の施設整備について) 学校施設の整備にあたっては、これまで耐震化対策や特別支援学校の建設等、様々な課題への対応を行っております。また、緊急性の高い施設整備及び補修については、必要な予算を獲得するとともに、当該年度予算の範囲内で効率的な活用を行い、一つでも多くの施設整備及び補修に取り組めるよう努めているところです。 学校の特色を出すための学校独自の施設整備については、このような限られた予算内で学校とよく相談した上で、費用対効果等を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。 →次号へ続く
---	---

